

熱波甲子園 2017~

熱波甲子園とは？

日本サウナ熱波協会加盟の温浴施設による熱波師の競技を競う大会です。施設ごとに「男女混合」「女性のみ」また「認定プロ」に分かれ競います。技とパフォーマンスを互いに感じ、認め合うことで個々の熱波師の意識とレベルが向上し、大会を通じての交流が仲間をつくります。サウナブームに花を咲かせる全国の熱波師のステージなのです。



男女混合

優勝チームが1年間所持することのできるベルト。

女性チーム



大会は5月または6月ごろに開催されます。第一回～第三回までを愛知のサウナイーグルで、四回～七回を神奈川おふろの国で開催しており、毎回参加人数と見学者が増えており、枠組みを越えた熱波師への注目が高まっています。大会参加できるのは、主催する日本サウナ熱波協会に加盟する店舗です。北は仙台、南は博多から1年に1度の甲子園へ参加されています。

総合優勝で地域の一番店になれ！

優勝すると新聞・テレビなどでの取材が増えます。熱波師のメディアメディア出演を後押しいたします。



プロ熱波甲子園ベルト

熱波甲子園とは？ 競技 2017.5.8修正

全ての競技の得点について=20チームであれば得点1位を20点、2位19点・・・とする。

A・トライアスロン部門 1店舗 各1人参加

①～③を合計しトライアスロン部門での順位(得点)を決めます。

※バスタオルはすべて協会公式品使用

①熱波タイフーン

出場者がバスタオルで審査員に熱波を送る。審査員はサウナ2段目に座り風速計を持ち測定。3回測定、もっとも高かった数値を採用。風速は時速で測定。



②熱波ボーリング

サウナ2段目に3センチ程度水の入った500mlペットボトルをボーリング形式で並べる。2回チャレンジしバスタオルで倒した合計本数で競う。なお1段目に足をかけたりは不可。

※バスタオルはすべて協会公式品使用

③熱波入試(サウナヒーターにスイッチが入った状態で、37度程度のサウナサイズに10分以内で答える)出題内容はサウナに関する機械・環境・歴史・関連商品・熱波協会・熱波甲子園・温浴関連に関わる物事・人・情報。

B・パフォーマンス部門 1店舗3人まで参加

パフォーマンス部門だけの順位(得点)を決めます。

サウナ内において1店舗3分以内でパフォーマンスをおこなう。3分をすぎると-1点。終了後30秒以内に退室しなければ-1点。審査員はチームごとに10点満点で採点。全員の平均点で順位決定。各審査員によって基準は異なり。開会式にて基準を表明する。

最終的にAとBの得点を合わせて再度順位を決め、総合順位となります。

お問い合わせは

日本サウナ熱波協会 おふろの国 担当・林
TEL045-585-4126 neppa@ofuronokuni.co.jp



熱波甲子園概要

大会名称■

熱波甲子園(同時開催 女熱波甲子園 プロ熱波甲子園)

大会趣旨■

日頃各地のサウナ内で厳しい条件下での「ロウリュ」業務で活躍するスタッフを称え、そのタオル技術・魅了する話術を競う場を提供することで、お客様へのサービスを自ら考え磨きつづける切っ掛けとなる大会をおこなう。その輝きは店舗の所在するその地域において、必ずや一番の「ロウリュ」を生み出す切っ掛けとなる。

大会参加条件■

日本サウナ熱波協会に加盟する温浴施設・温浴関連事業者・協会認定プロ

主催■

日本サウナ熱波協会(おふろの国内・横浜市鶴見区下末吉2-25-23)

後援■

月刊サウナ 月刊おふろデートに連れてって

